

平成23年  
新司法試験  
**最新  
合格者  
講義**  
OPEN

■ 200点 Over の未修合格者が教える、民事系でたたかう姿勢。

# ロースクールでは教えてくれない。 民事系・勝利の方程式

東京本校 11/3(木・祝) **LIVE**  
辰巳各本校 11/8(火)~ **VB**  
通信部 発売開始 11/15(火)

## 民事系 200点 Over の未修合格者が教える、 最大配点の民事系で勝利する方程式

短答でも論文でも、最大配点の民事系が解ける・書けるようになる方法を教えます。実務で武器になるのは、条文のみです。「実務家登用試験」である新司法試験でも求められている能力は、条文をいかに効率よく使って紛争を解決できるかにかかっていると一言でも過言ではありません。問題文(具体的な紛争)から当事者が欲する法的効果を発見する能力を養い、法的効果を最大限に実現するために有効な条文を発見する能力を養うことが、新司法試験に合格する1つのメルクマールとなることは間違いありません。

落としどころは、仲裁機関である裁判所を納得させ、説得力のある法的な思考ができるかどうか。民事系は、公法系・刑事系とは異なり、事実が多く条文を適用し解決する場面が多く出てきます。本講座を受講後は、具体的な紛争を解決する(答案を書く)楽しさを、実感できるはずですよ。

本講座では、今年の民事系の問題を使用し、適宜、再現答案を用いながら、最大配点の民事系・勝利の方程式をお教えします。

本講座をご受講の際は、事前に平成23年新司法試験論文式試験民事系科目の問題文に目を通し、皆様なりの具体的な紛争のイメージを持って、講義に臨んでいただくことでより効果が高まります。

### 講座仕様

**回数** 全3回・9時間

**科目** 民事系

**教材** ・講師作成オリジナルレジュメ  
・講師作成再現答案  
・120点台の再現答案

**講師** 平成23年新司法試験合格者  
三津間 秀人 講師

#### Profile

大東文化大学法科大学院未修者コース修了。平成23年新司法試験にて、見事、新司法試験1回目合格。旧司法試験・法科大学院入試に失敗した経験があり、法科大学院時代は、常に新司法試験合格の不安・恐怖にさいなまれる。特に民事系科目に対しては強い危機感を持ち、どうすれば合格できるか悩み抜いた。その末に出した結論はいたって普通。六法・教科書を読み、ノートを作り、問題を解く。小学生でもやっている普通の勉強方法だが、基本的に立ち回り、普通のことを普通にこなせば合格できると確信する。ただし、勉強が独りよがりにならないよう、法科大学院時代は、自分の書いた答案を自主ゼミのメンバーとともに徹底的に分析し、また、自己の実力を徹底してデジタル化することを心掛け、2年生時から辰巳・全国公開模試を利用する。その結果、論文民事系206.24点、総合順位137位、短答277点(結果的に、合格への不安は全くなかったと語る)。

自身の経験から、法律を学ぶ上で、当たり前のことを疎かにして点数が伸び悩んでいる人がいるのではないかと不安になる。そこで、新司法試験で求められているものに真正面から当たり前の解答をすることができれば、また、それができるような普通の勉強さえできれば合格できるということを伝えたい。特に合格のイメージを描むことができず、合格への不安を感じている受験生に、諦めないことの重要性も併せて伝えたいとの思いから、辰巳の教壇に立つ決意をする。

### 講師メッセージ

新司法試験で合格点を獲得するためには、当たり前の解答を当たり前に答案用紙に表現できることが必要です。それで足りないと私は考えています。しかし、新司法試験に不合格だった方、答練の点数が伸び悩んでいる方は、この当たり前のことをしっかりと意識できているでしょうか。私自身の失敗を振り返ってみると、法科大学院入学以前は、当たり前のことが本当に疎かになっていました。度重なる失敗を経て、様々な試行錯誤を積み重ねるうちに、何より大事なのは当たり前の基本であることに気がついたのです。

今回の講義で伝えたい最大のポイントは、今伸び悩んでいる皆様に、このことに気が付いていただきたいという点にあります。

そのために、まず、新司法試験で求められている、当たり前のこととは何かをお話しし、そのうえで本年の新司法試験論文民事系科目を題材にその当たり前のことがどのように問われているか、また、それに解答できるようにするためにどのような勉強をすればよいとお話ししたいと思います。

人それぞれ今置かれている環境は異なると思います。中には、自分の置かれている環境で合格できるの不安になっている方もいるのではないのでしょうか。しかし、あきらめないで下さい。とにかく、当たり前の基本をしっかりと身に付ければ合格できるはずですよ。そのために環境の差は関係ありません。また、その勉強をするために特別なツールは必要ありません。既に、皆様の手元には、合格に必要なツールすべてが揃っているはずなんです。

ただ、合格に一定の努力量が必要なことは確かです。勉強方法は人それぞれです。私の講義を聞きさえすれば合格するとか、私の示す方法が絶対的に正しいなどと言うことはあり得ません。

それでも、私は、この講義が、今伸び悩み苦しんでいる皆様にとっての合格のヒントになり得ると信じています。実際に私の講義からヒントを得て、半年後に迫った第7回新司法試験に合格する方が出て下されば、これに勝る喜びはありません。

### スケジュール

東京本校		辰巳各本校		通信部
LIVE		VBアース		発送日
時間割		利用開始	利用終了	以降随時
11/3(木)	10:00-13:10 14:00-17:10	11/8(火)	12/8(木)	11/15(火)
11/4(金)	14:00-17:10			

\*辰巳各本校...東京・横浜・大阪・京都・名古屋・福岡本校

### 受講料(税込)

通学部			通信部				
講座コード	辰巳価格	代理店価格	DVD3-D	MD3-D	カセット3-D	辰巳価格	代理店価格
111NA5*	¥16,000	¥15,200	R-299R	R-299M	R-299	¥17,600	¥16,720

※注1 通学部は、受講会場(東京校・大阪校など)を申込段階でお選びいただけます。  
※注2 通学部は、媒体の別(DVD又はカセットテープ又はMD)をお選びいただけます。  
MDはMDLP対応機種のみ、DVDはDVD-R対応機種のみご利用いただけます。ご自身のプレーヤーをご確認のうえ申し込み下さい。  
※注3 注1での選択を、上記受講料表中の「講座コード」の「\*」の箇所以下記表の会場コードによって記入して下さい。  
例) 東京校でLIVE又はVideoBoothで受講の場合→「講座コード111●●●\*」の「\*」に「H」を当てはめ→「111●●●H」

通学 東京校はH	通学 横浜校はY	通学 大阪校はK	通学 京都校はM	通学 名古屋校はN
通学 福岡校はF	通学 宇都宮校はU	通学 岡山校はL	通学 高校校はA	通学 鹿児島校はZ

**辰巳法律研究所**  
http://www.tatsumi.co.jp/

東京本校 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-3-6 TEL 03-3360-3371 (代表)  
 横浜本校 〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町 2-23-5 銀洋第2ビル 4F TEL 045-410-0690 (代表)  
 大阪本校 〒530-0051 大阪市北区太融寺町 5-13 東梅田パークビル 3F TEL 06-6311-0400 (代表)  
 京都本校 〒604-8152 京都市中京区烏丸道頓小路上ル手洗水町 670 京都フクトクビル 6F TEL 075-254-8066 (代表)  
 名古屋本校 〒450-0002 名古屋市中村区名駅 4-26-22 名駅ビル 3F TEL 052-588-3941 (代表)  
 福岡本校 〒810-0001 福岡市中央区天神 1-10-17 西日本ビル 8F TEL 092-726-5040 (代表)